

実家暮らし社会人の実態調査

26.8%は家に1円も入れていない！
56.3%がやむを得ない事情がない限り実家を出る予定なし。

一人暮らしと違って自由度は低い反面、「生活費が安く済む」、「何かあった時に安心」などのメリットがある実家暮らし。そんな実家暮らしをしている社会人は、どのような生活を送っているのでしょうか。

今回、キャリアルーノ編集部(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、20代の社会人550名に「実家暮らし」に関するアンケート調査を行った。結果、実家暮らし社会人の26.8%が家に生活費を入れていないことが分かった。

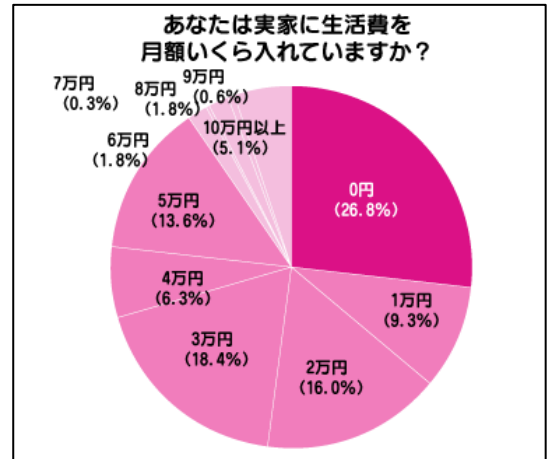
■調査概要

- 有効回答** 実家で暮らしている20代社会人332名
実家から独立して暮らしている20代社会人218名
- 調査方法** インターネットによるアンケート調査
- 調査期間** 2013年4月26日(金)～4月27日(土)

1. 実家暮らし社会人の26.8%は家に1円も入れていない！

はじめに、実家暮らし社会人に「あなたは実家に生活費を月額いくら入れていますか？」という質問をした。結果、26.8%は「0円」と回答。「1万円」が9.3%、「2万円」が16.0%、「3万円」が18.4%、「4万円」が6.3%、「5万円」が13.6%だった。また、「今より多く入れたい」と考えている人が58.7%、「妥当な金額」と考えている人が28.0%、「今より少なくしたい」と考えている人が13.3%だった。

この調査より、実家暮らし社会人のうち4人に1人もの人が、所得があるにも関わらず、家族に生活費を賄ってもらっていることが分かった。また、「0円」の回答に加え「5万円」以下を足すと全体の9割を超える。都内で一人暮らしをすると、家賃だけで5万円以上かかることがほとんど。家賃補助が受けられたり、格安で寮に住める会社もあるが、実家で暮らしているか否かで経済状況に明らかな差がうかがえる。

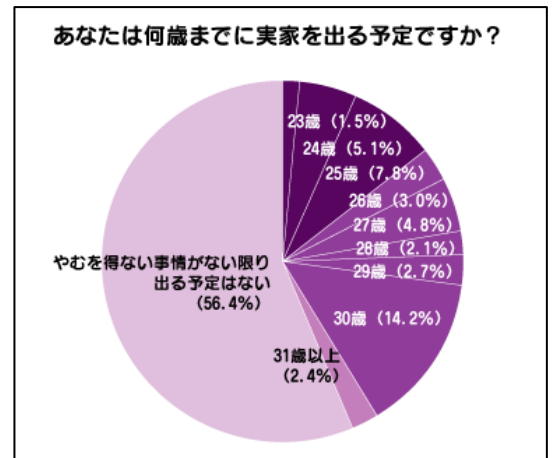


2. 56.3%がやむを得ない事情がない限り実家を出る予定なし。

続いて、実家暮らし社会人に、「あなたは何歳までに実家を出る予定ですか？」と聞くと、56.3%が「やむを得ない事情

(結婚、転職など)がない限り出る予定はない」と回答。現在実家で暮らしている 20 代社会人の半数以上が、特に実家から独立する意思がないことが分かった。「出る予定はない」と答えた理由としては、「実家の方がお金がかからないから(24 歳/東京都)」といった経済的な理由と、「出る理由がないから(28 歳/東京都)」という声の特に多く聞かれた。その他にも、祖父母の介護や家業の手伝いなど、それぞれの事情もあるようだ。

次に多かったのが、14.2%の「30 歳(4 年制大学出身者が新卒で入社した場合、社会人 8 年目)」で、実家を出るとしたら、「30 歳」が一つの目安になるようだ。「30 歳」と答えた理由は、「さすがに 30 歳までには自立した方が良さそう。(28 歳/富山県)」など、年齢を意識した回答が目立ち、世間体を気にして独立を考える人も少なくないようだ。



3. すでに独立している人も 32.1%が「やむを得ない事情がない限り出なくていい」と回答。

一方、実家から独立して暮らしている 20 代の社会人は、実家からの独立についてどう考えているのだろうか。「社会人は何歳までに実家を出るべきだと思いますか？」という質問を試みた。最も多かったのが「やむを得ない事情(結婚や転職など)がない限り出なくていい」で 32.1%、次いで「23 歳」と答えた人が 28.9%、「25 歳」が 11.5%、「30 歳」が 8.7%だった。

「やむを得ない事情がない限り出なくていい」を選んだ理由として最も多かったのが、「お金がもったいないから。(26 歳/茨城県)」という回答。やはり独立は金銭的負担が大きいようだ。次に多く聞かれたのが、「親といられる時間は貴重だから。(23 歳/愛知県)」という理由。自身が親元を離れた経験からの意見が聞かれた。

実家暮らし社会人のうち、実家に生活費を入れない人や、独立を考えない人が多いのは、なぜなのだろうか。一つは、「経済的理由」が多く挙げたことから、不景気の影響が考えられる。また、子どもが社会へ出て、変わらず生活の面倒を見ている親の存在も無視できない。いずれにしても、経済面、生活面、精神面での自立は、一社会人として身につけておくべきだろう。

詳しくはコチラ<http://www.o-uccino.jp/cariruno/contents/toku/jikka_syakaijin.html>